

■科目名			
特別支援教育基礎論			
Basics of Special Needs Education			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職理解科目	特別支援教育	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
1	4期		後
■担当教員			
雲井 未歆			
■代表教員名及び連絡先等			
kumoi@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
水曜 4 限			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
<p>障害又は他の理由により学習上や生活上の困難を有する幼児、児童及び生徒に対し、教育上必要となる特別の支援の内容と方法について概説する。第1回では、WHOや国連による障害者支援の考え方を踏まえ、インクルーシブ社会に向けた特別支援教育の理念と意義の理解を共有する。第2回～第3回では、特別支援教育の対象である各種障害について、それぞれの特性及び学校教育で行う支援の枠組みを関連法規とともに述べる。第4回～第6回は、教育課程と個別の指導計画及び授業での支援について述べるとともに、それらの関連付けを通して、支援を具体化するプロセスを論じる。第7回～第8回では、学校全体として取り組むことの重要性、並びに障害に限らずあらゆる教育的ニーズに対応していくことの必要性について述べる。</p>			
■授業の到達目標及びテーマ			
<p>到達目標          ?幼児児童生徒の多様な教育的ニーズについて、困難の内容や背景とともに理解している。          ?特別支援教育の理念と制度の内容を理解しており、説明できる。          ?個々の特性に応じた支援の進め方と支援体制について理解している。          ?障害に限らず個々の教育的ニーズを丁寧に把握し支援する必要性を理解している。</p> <p>テーマ          特別支援教育に関する基礎的内容の理解</p>			
■授業計画			
<p>全8回の授業を対面形式で実施する。対面授業の要件を満たすことが難しい場合は遠隔（Zoomによるリアルタイム配信）で行う。</p> <p>第1回：インクルーシブ社会と特別支援教育の意義          第2回：種々の障害とその特別な教育的ニーズ          第3回：多様な支援の場とその特徴          第4回：発達障害の理解と支援          第5回：通常の学級における実態把握と支援の概要          第6回：特別支援教育における教育課程の特徴          第7回：ニーズの多様化と特別支援教育の支援体制          第8回：まとめと確認試験</p>			
■授業外学習（予習・復習）			
<p>[予習]授業内容の理解に必要かつ授業内では解説しない基礎的な事項を指示するので、授業前までに理解しておく。</p> <p>[復習]授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。</p>			
■受講要件			
■成績の評価基準			
確認試験（70%）、授業内課題への取り組み・提出状況（30%）			
■教科書・参考書			
教科書は特に指定せず、講義資料をmanabaで配信する。			
参考書			
柘植雅義（監修）『キーワードでわかるはじめての特別支援教育』、学研プラス、2015 吉利宗久・是永かな子・大沼直樹（著）『新しい特別支援教育のかたち—インクルーシブ教育の実現に向けて』			

、培風館、2016

## ■教師としての資質能力に関するチェック項目

## 3. 教育方法に関する理解

【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析など、指導法や授業改善について理解している

## 11. 特別支援教育に関する理解

【C学習者理解】特別支援教育に関する基本的な知識を身に付けており、それを生かした具体的な指導・支援の在り方を構想することができる

## アクティブ・ラーニング

振り返り(ミニッツ・ペーパー等)；

## アクティブ・ラーニング(その他)

## アクティブ・ラーニング(授業回数)

8回中4回

## ■実務経験のある教員による実践的授業

## ■その他

授業形態(対面・遠隔)については、コロナウイルス感染症の影響、その他の理由により変更する場合がある。